

こだわりの商品をお求めやすい価格で

平成25年秋冬 おすすめ新商品

ソフトカジュアルブーツ ¥980(税込み¥1,029)
フラットで歩きやすい柔らかソールを採用しています。スエード調パレエカジュアル ¥476(税込み¥499)
靴底は3重構造でしっかりと作りました。
多彩な5色展開。クッションスニーカー ¥648(税込み¥680) キッズカジュアルブーツ ¥780(税込み¥819)
ボリュームたっぷりのクッションを内蔵しつつ、内側全面ボア仕上げでふわふわあったか。底は柔らかくしてしなやかに曲がり、子どもが歩きやすい作りです。

平成25年春夏 ヒット商品

バレエカジュアルシューズ
¥476(税込み¥499)
涼感素材&ナチュラル感♪どんなコーディネートにも合わせやすい!カラーソールスニーカー
¥476(税込み¥499)
普段使いに軽くて履きやすい!
ファミリーサイズ対応です。メッシュバレエスニーカー
¥476(税込み¥499)
面ファスナーでしっかりフィット!
素足で履ける気持ち良さ♪

靴への感謝の気持ちを短冊に

ヒラキ靴短冊大賞作品発表!



愛知県牧田十六様

在りし日の父
かかと踏む若輩者に
やんわりと 苦言を呈す今年も全国からたくさん
作品をご応募いただき、誠に
ありがとうございました。
厳正なる審査の結果、作品
を大賞として選出させていた
だきました。
当社ホームページにて、
入賞作品を公開しております。
これからもヒラキは皆様に、
それぞれの靴への想いを大切に、
靴作りを続けてまいります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 每年6月

基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	株主優待	毎年3月31日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)で行っております。

■住所変更、単元未満株式買取のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待特典のお知らせ

平成25年3月31日の当社株主名簿に記載された単元株式数(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、当社お買物券(2,000円相当)を平成25年8月に贈呈いたしました。

※当社お買物券は当社通信販売、または兵庫県にあります当社店舗にて使用できます。

ヒラキのホームページでは、タイムリーなプレスリリースやIRニュースほか、会社情報など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を定期的に更新、掲載しております。また、HIRAKI Shoppingサイトへもリンクしておりますので、どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

<http://company.hiraki.co.jp/>

ヒラキ株式会社

[本誌に関するお問い合わせ先:総務部]
〒651-2494 神戸市西区岩岡町野中字福吉556
TEL:078-967-4601 FAX:078-967-4603当株主通信は環境に配慮した再生紙、
及びインクを使用しております。
また、読みやすいUDフォントを使用しております。

「驚き」「楽しさ」「満足感」をめざして。

冬の装い応援します。
～より暖かく、快適に～

ふわふわあつたか 選べる7色!

レディース ショートボアブーツ
¥980(税込み¥1,029)HIRAKI COMPANY REPORT
株主通信第37期
中間期

平成25年4月1日～平成25年9月30日

ヒラキ株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第37期の上半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）が終了しましたので、決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。

今後ともご期待にお応えできるよう、当社の基本方針である「長期安定的な企業価値の向上」を目指してまいりますので、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役 社長執行役員
向畠 達也

連結(累計)

売上高
9,625百万円
(前年同四半期比8.7%減)

営業利益
236百万円
(前年同四半期比16.8%減)

経常利益
264百万円
(前年同四半期比86.0%増)

四半期純利益
160百万円
(前年同四半期比78.1%増)

1株当たり
四半期純利益
32円97銭
(前年同四半期比14円34銭増)

中間配当
10円
(前年中間配当10円)

事業の概況

平成25年度上半期における日本経済は、輸出の持ち直し、各種政策効果が、企業収益、雇用情勢の改善につながり、緩やかに回復する動きがみられました。しかしながら、靴業界におきましては、依然、消費者の節約志向が続いている厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴を中心とした商品力の強化」、そして「商品力を売上へつなげる現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、体制を強化し商品開発から販売までのスピード化を図るとともに、自社店舗販売情報の活用や海外協力工場の関係強化などを通じて「商品力の強化」に取り組みました。また、無料設置カタログの増設、WEB広告の強化など、新規顧客の開拓にも注力いたしました。

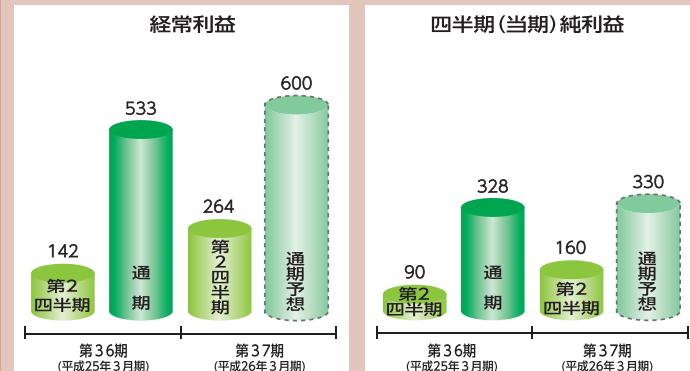
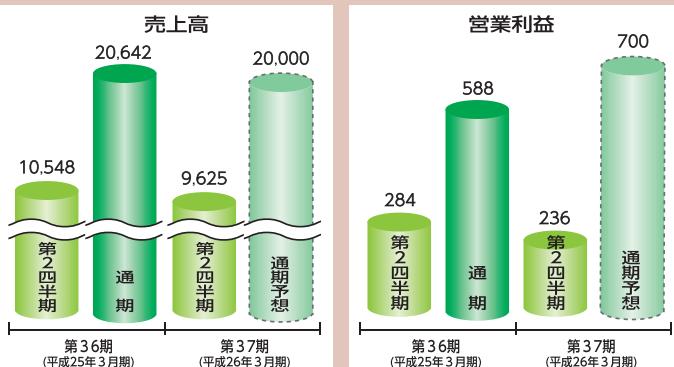
ディスカウント事業におきましては、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとして、圧倒的な安さを実現した自社開発商品を、靴をはじめ、衣料、日用雑貨においても展開してまいりました。また、『特価大商談会』の開催や新規仕入開拓を通じて収益性の改善に努めました。

卸販売事業におきましては、靴販売店向け取引『大卸し』のカタログ配布先を増加させ、収益性の確保を図りながら量的拡大に向けての取り組みを強化いたしました。

しかし、第1四半期における通信販売事業の低迷、および不採算店舗であった氷上山南店を昨年10月末に閉店したことによる売上高の減少が影響し、当上半期の連結売上高は96億2千5百万円となりました。

利益面につきましては、通信販売事業を中心に更なるローコストオペレーションの実施、ディスカウント事業における粗利率の改善など収益力の強化に取り組み、第2四半期において営業利益は改善いたしましたが、第1四半期の低迷が影響し、当上半期における営業利益は2億3千6百万円となりました。なお、経常利益は、円安による為替差益の増加などにより2億6千4百万円、四半期純利益は1億6千万円と増益となりました。

連結経営成績(累計)および通期業績予想 単位:百万円

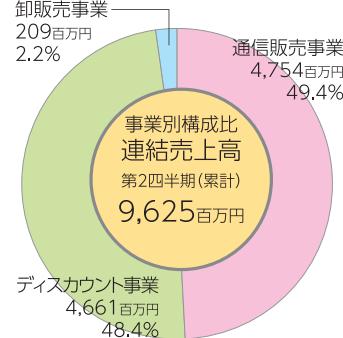


事業のセグメント別概況

通信販売事業

■商品開発体制の強化により、新商品をタイミングよく投入したことで、秋冬商品の受注が順調に推移し、第2四半期の売上高は上向きに転じましたが、第1四半期の低迷を補うまでに至らず、連結売上高は47億5千4百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

利益面では、物流業務の効率化に引き続き取り組み、第2四半期において収益は改善しましたが、第1四半期の不振、新規顧客獲得強化のための費用増などから、営業利益は4億2千万円(前年同期比18.5%減)となりました。



ディスカウント事業

■氷上山南店の閉店の影響などにより、売上高は46億6千1百万円(前年同期比12.3%減)。なお、閉店を除く既存店では4.4%減となりました。

利益面では、仕入先政策の強化や自社開発商品の拡販などによる粗利率の改善、および不採算店舗の閉店などにより、営業利益は2千3百万円(前年同期は1千7百万円の損失)となり、営業損失から脱して黒字化することができました。

卸販売事業

■靴販売店向けカタログ販売『大卸し』の売上高が増加する一方、大口OEM販売先について取引が伸び悩み、売上高は2億9百万円(前年同期比21.6%減)、営業利益は9百万円(前年同期比49.2%減)となりました。

中期事業戦略

『靴』を核として、大量販売を基本とした
「圧倒的に安く作り、安く売れる仕組み」を追求
→『商品力』『販売力』『収益力』の強化

通信販売事業

■商品開発・販売促進・商品管理が一体となった企画開発のスピード化
■中国+東南アジア諸国における生産協力工場の新規開拓推進

ディスカウント事業

■自社企画開発商品の売場拡大、仕入先施策の強化による粗利潤率の改善
■積極的な改装や外部催事の開催等による更なる広域商圏からの集客確保

卸販売事業

■OEM取引を主体とした高収益モデルの構築
■靴販売店向け取引『大卸し』の拡大

